

音声ガイド 名所紹介

四万温泉協会 機器貸し出し 試行

中之条町の四万温泉で散策を楽しんでもらおうと、四万温泉協会(田村佳之会長)は今年にも、持ち運びができる音声ガイド機器の貸し出しを試験的に始める。宿泊施設や土産物店、観光スポットなど50カ所を紹介。当面は無料で貸し出し、来年のプレ群馬デザインেশョンキャンペーン(DC)に合わせた本格導入に向け、利用者の反応を探る。

従来は旅館関係者がガイドの役割を担ってきたが、人手不足や知識共有の難しさもあ

り、新たなガイドの在り方を模索。情報処理企業で開発経験のある60、70代のシニアでつくる「チーム・よかボット」(高崎市)の提案を受け、チームが開発したガイド機器2台の導入を決めた。

機器は、特製ガイドマップに記された番号をテンキーで入力するとイヤホンやスピーカーから案内が流れる。同温泉の摩耶姫伝説にちなんだキジバトとカモシカのかわいらしいキャラクターがデザインされたポシェットに入れて持ち運ぶ。

合成音声で流れる内容は、ある旅館が映画撮影の舞台になったことや、元幼稚園教諭の若女将がいる宿は子連れに優しいなど、地元ならではの要素を盛り込んだ。ユニークなものとしては、地域に生息するカジカガエルの独特な鳴き声も入れた。情報は季節やイベント時期などによって更新する。

観光協会の営業時間内に貸し出す。試験運用でのアンケート結果を踏まえ、機器を増やしたり案内する対象エリアを拡大したりする。今後は英語などの多言語への対応も検討するという。

従来は旅館関係者がガイドの役割を担ってきたが、人手不足や知識共有の難しさもあ

四万温泉の散策に活用してもらおう
音声ガイド装置



では出てこない、こころる度に新たな四万を
でしか聞けない情報も「発見してほしい」と期
数多く入っている。訪待している。

同協会地域づくり委員会の中沢まち子委員長は「インターネット